

2012年4月8日

経済地理学会会長  
山 川 充 夫 殿

経済地理学会論文賞選考委員会  
委員長 秋 山 道 雄

### 第1回経済地理学会論文賞受賞候補者の推薦

経済地理学会論文賞選考委員会は、経済地理学会賞内規にもとづき、以下の通り候補者を評議会に推薦することを決定いたしましたので、ここにご通知申し上げます。

#### 選考結果

候補者名 : 與倉 豊  
受賞論文 : 「地方開催型見本市における主体間の関係性構築  
—諏訪圏工業メッセを事例として—」  
(経済地理学年報第57巻第3号、2011年、221-238ページ)

#### 受賞理由 :

本稿は、諏訪地域という代表的な地方産業集積地域において開催される見本市を取り上げ、そこへの参加主体である出展者や来場者が構築する多様な関係性の意義を検討した研究である。見本市は、イノベーションに繋がる知識や情報の獲得という面で注目されるほか、新規取引先の獲得、自社の知名度の向上、既存の取引先を招待した接待を通じての関係継続機会などとして活用されるため、域内の企業は重要なイベントとして認識しつつある。

イノベーションに関する研究は、理論的な検討は可能でも実証研究は困難という問題を抱えているが、本研究は既存研究をたんねんにサーベイして研究上の問題を導出し、対象地域での研究を通じてイノベーションをめぐる議論の発展可能性をもたらした点は評価できる。今回の問題整理を踏まえ、本格的な実証研究を進めていくことが期待される。

諏訪地域の産業集積については、経済地理学界においてこれまでにかなりの研究蓄積があるが、本研究は、見本市の開催という対象を取り上げることによって、域内・域外の企業による相互作用が諏訪地域の産業集積にもたらす新たな側面を浮かび上がらせた。これまで斯学ではあまり注目されてこなかった見本市に着目し、そこで形成される関係性の実際とその意義を明らかにした論文である。本研究を基礎として、他地域の事例分析を加えていくことにより、産業集積に果たす見本市の役割に関する知見が深まる可能性がある。

以上の理由により、経済地理学会論文賞選考委員会は、受賞論文が、内規第3条で規定される対象論文のなかでもっともすぐれたものであると判断し、與倉 豊会員を第1回経済地理学会論文賞候補者として推薦する。

経済地理学会論文賞選考委員会：秋山道雄（委員長）岡本耕平、梶田 真、加藤和暢、友澤和夫